



上半期(1月1日～6月30日)の火災・救急・救助の各概況(速報値)は次のとおりです。

火災 出火原因 1位は「たき火」

上半期に発生した火災は71件で、昨年同時期と比較すると1件減少し、うち建物火災は9件増加しましたが、林野火災は12件減少しました。出火の原因の1位は「たき火(約18%)」で、火が周囲の枯れ草や可燃物に燃え移って火災に至っています。風が強いときや空気が乾燥しているときには、火の取り扱いに十分注意しましょう。

火災概況

▲は減を示す

区分	平成27年上半期	平成26年上半期	比較	
火災件数合計(件)	71	72	▲ 1	
火災種別(件)	建物火災	28	9	
	うち住宅火災	19	10	9
	林野火災	2	14	▲ 12
	車両火災	10	3	7
	船舶火災	0	0	0
	その他の火災	22	27	▲ 5
死者(人)	2	2	0	
負傷者(人)	9	7	2	

出火原因

単位は件、▲は減を示す

出火原因	平成27年上半期		平成26年上半期		比較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	3	1	1	0	2	1
こんろ	6	5	1	1	5	4
炉	0	0	1	0	▲ 1	0
焼却炉	2	0	1	0	1	0
ストーブ	5	5	3	3	2	2
電気装置	0	0	1	0	▲ 1	0
電気機器	1	1	1	1	0	0
内燃機関	1	0	0	0	1	0
電灯・電話等の配線	0	0	2	1	▲ 2	▲ 1
配線器具	1	0	0	0	1	0
火あそび	4	1	0	0	4	1
マッチ・ライター	0	0	1	0	▲ 1	0
たき火	13	0	21	0	▲ 8	0
衝突の火花	3	0	0	0	3	0
灯火	1	1	1	1	0	0
火入れ	0	0	1	0	▲ 1	0
放火	3	1	2	0	1	1
放火の疑い	1	1	12	0	▲ 11	1
その他	8	0	7	0	1	0
不明・調査中	19	3	16	3	3	0
合計	71	19	72	10	▲ 1	9

救急 軽症患者が全体の約50%超え

上半期に発生した救急出動件数は7,010件でした。事故種別では急病が4,424件と最も多く、全体の約63%を占め、次いで一般負傷が1,091件(約16%)、交通事故が623件(約9%)でした。昨年同時期と比較すると、出動件数は18件減少し、搬送人員は34人増加しました。

また、救急出動全体の約50%が軽症患者でした。軽いけがや病気(擦り傷、歯痛、風邪など)の場合などは、自家用車やタクシーなどでかかりつけの病院へ行きましょう。それが、本当に救急車を必要としている人の貴い命を救うこととなります。救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急概況

▲は減を示す

区分	平成27年上半期	平成26年上半期	比較
出動件数(件)	7,010	7,028	▲ 18
搬送件数(件)	6,367	6,337	30
不搬送件数(件)	643	691	▲ 48
搬送人員(人)	6,457	6,423	34

救助 交通事故による救助出動が最多

上半期の救助件数は45件でした。そのうち、交通事故が26件で全体の約57%を占め、次いで建物等による事故およびその他の事故が6件、水難事故4件、機械による事故2件、火災1件でした。

出動件数45件のうち、現場で活動した件数は29件で、31人を救助しました。活動件数に入っていない16件については、救助隊が到着するまでに自力で脱出したものや、付近の住民などによって救出されたものです。

夏の行楽シーズンは、長距離の運転、海や川でのレジャーが増える時期です。交通事故や水の事故には十分注意しましょう。



救助訓練

救助概況

▲は減を示す

区分	平成27年上半期	平成26年上半期	比較
出動件数(件)	45	61	▲ 16
活動件数(件)	29	40	▲ 11
救助人数(人)	31	39	▲ 8